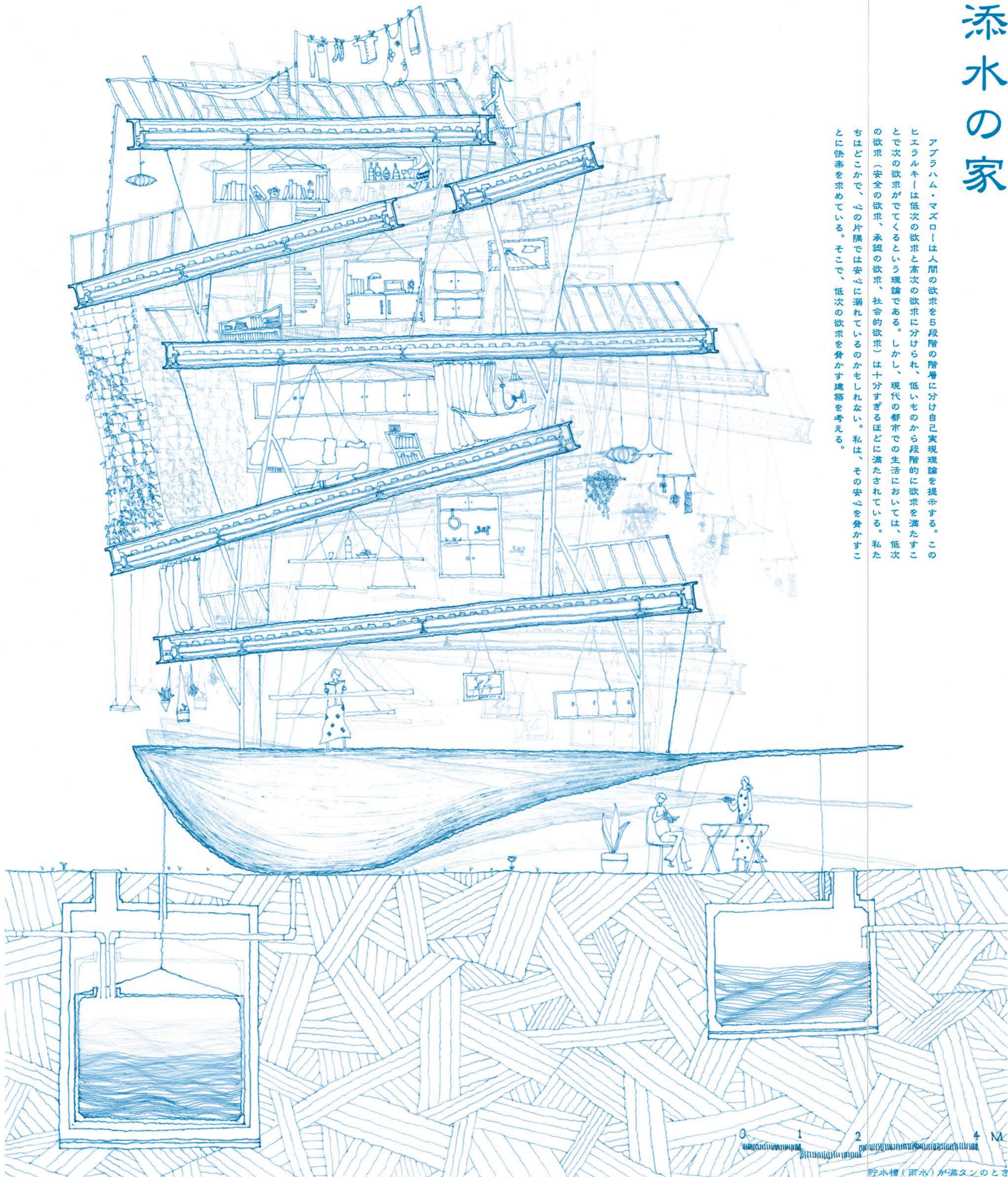


添水の家

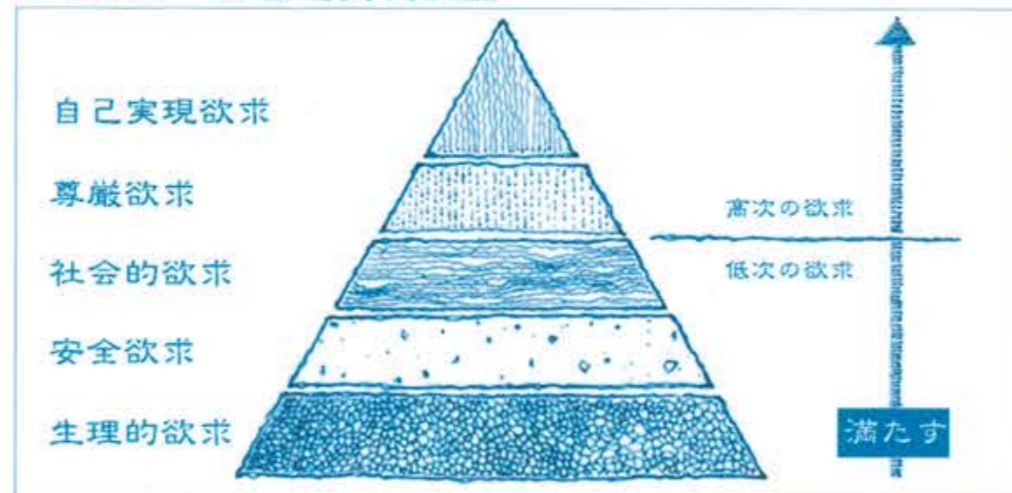
アブラハム・マズローは人間の欲求を5段階の階層に分け自己実現理論を提示する。このヒエラルキーは低次の欲求と高次の欲求に分けられ、低いものから段階的に欲求を満たすことで次の欲求がでてくるという理論である。しかし、現代の都市での生活においては、低次の欲求（安全の欲求、承認の欲求、社会的欲求）は十分すぎるほどに満たされている。私たちは、低次に快楽を求めている。そこで、低次の欲求を脅かす建物を考える。



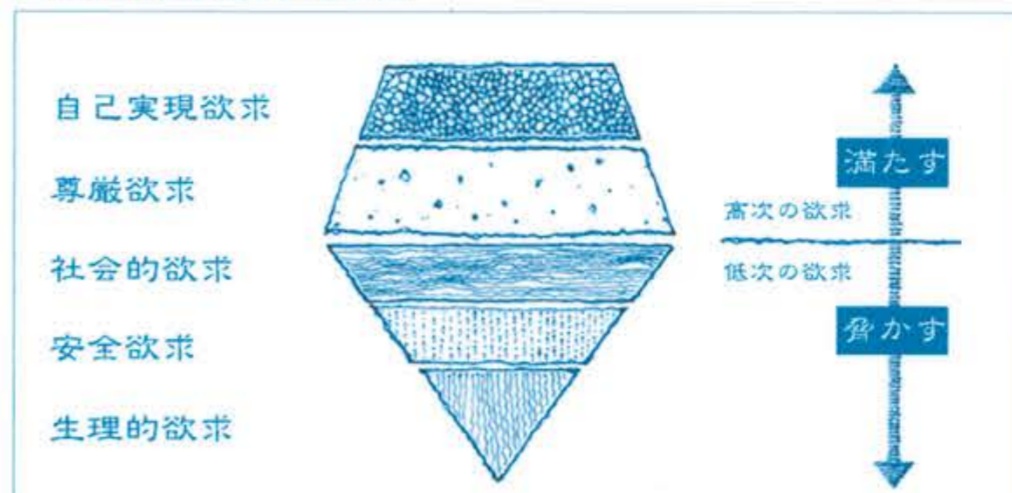
貯水槽（雨水）が満タンのとき

■マズローの自己実現理論とその転換

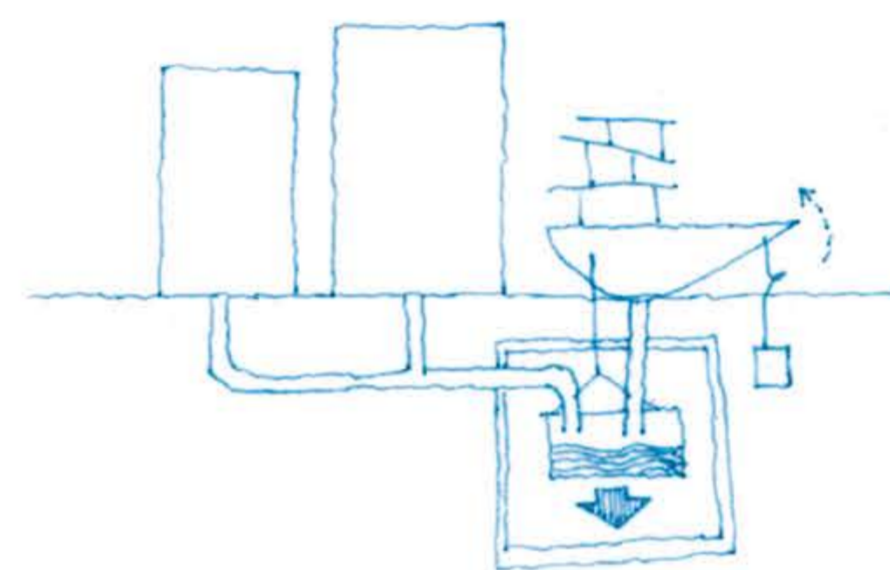
・マズローの自己実現理論



・現代の自己実現理論

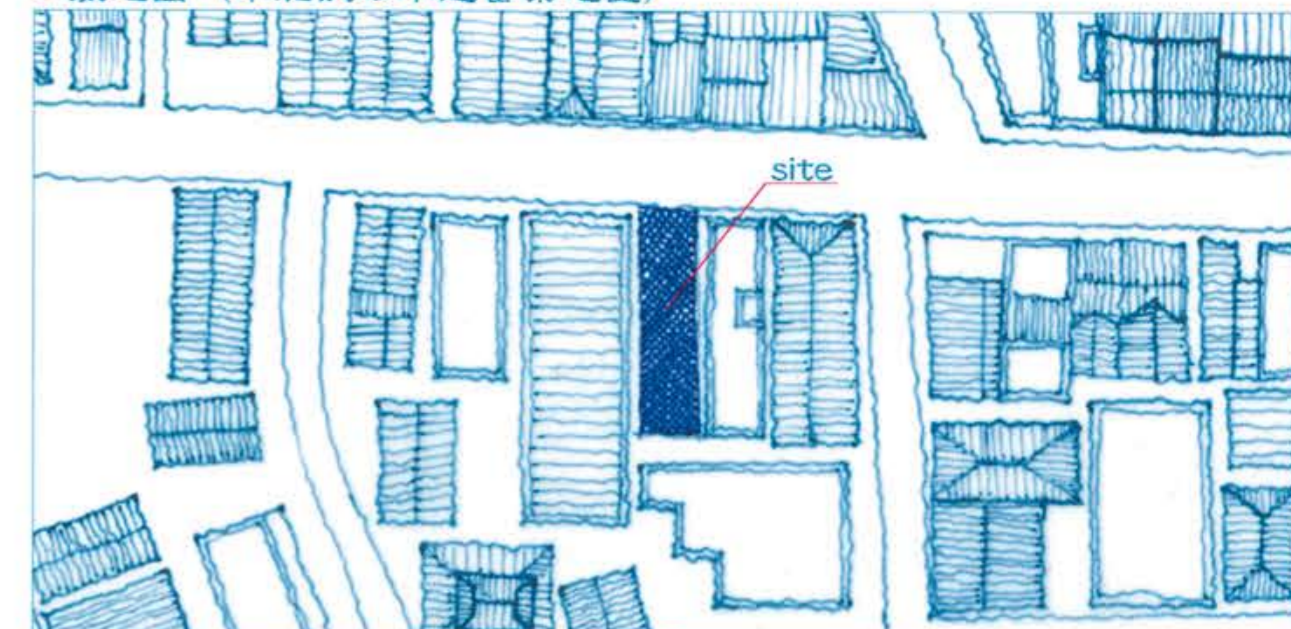


■低次の欲求を脅かす建築



貯水槽に集まった雨水の荷重で、建物をかたむける。周辺一帯からの雨水を管理し、流出を抑制するとともに、都市防災装置として、下北沢に寄与する。

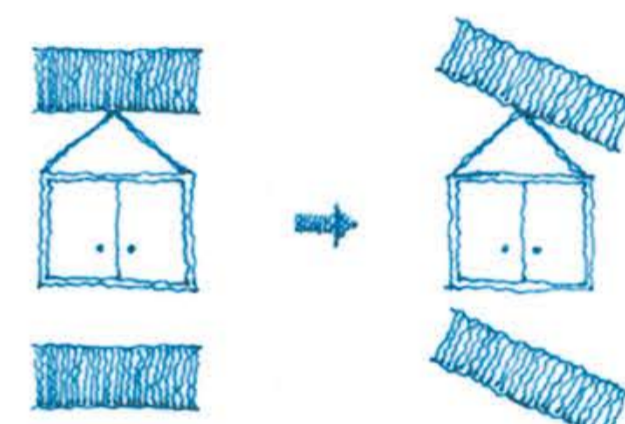
・敷地図（下北沢の木造密集地区）



下北沢という地は、東京の主要なエリアへのアクセスが容易であり、また、サブカルチャーの聖地であるため、SNSの利用や、YouTuberなどにより自己発信が容易にでき、誰でも社会的欲求や尊厳欲求、自己実現欲求（仲間がほしい、自分らしくいきたい、認められたい）を満たしやすくなっている。このような都市部では、マズローの5段階のピラミッドは上記のような五角形になるのではないだろうか。これは、快楽が常に欲求を満たすようなベクトルに向くだけではなく、低次の欲求を脅かすベクトルへも向かうようになると思う。

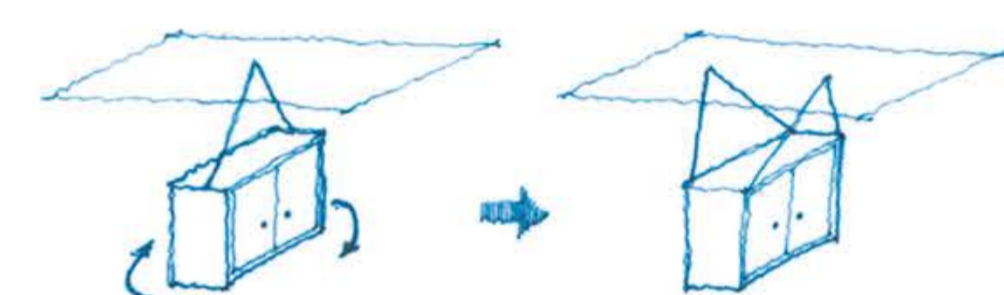
■建具の考え方

1. 傾きに対して

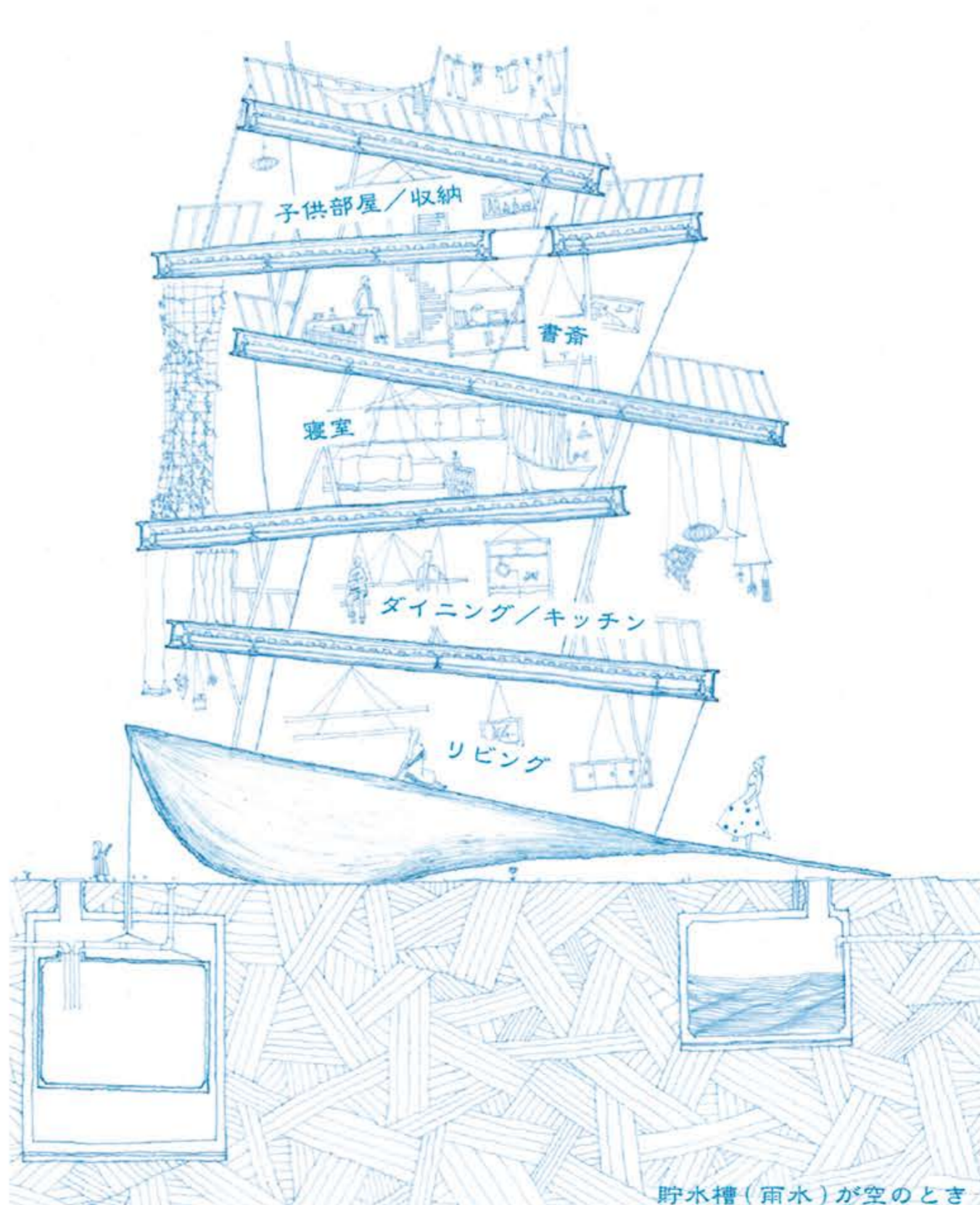


傾きに対して一点で建具を吊るすことで、建物が傾斜しても常に建具は水平を保つ。床と建具の距離が変化し、日常生活に新しい関係を生む。

2. 回転に対して



二箇所から一点支持することで、建具の回転するのを防ぐ



貯水槽（雨水）が空のとき

